

暮らし・にぎわい再生事業計画
高崎駅東口地区

平成30年3月

群馬県高崎市

1 再生事業計画区域

(1) 計画区域の位置

群馬県高崎市栄町の一部

(2) 計画区域の面積

約1.4ha

(3) 区域設定の考え方

本地区は高崎市の中心市街地活性化基本計画区域の東側に位置し、高崎駅東口から400mという好立地に位置しながら、低利用地（平面駐車場）となっている。

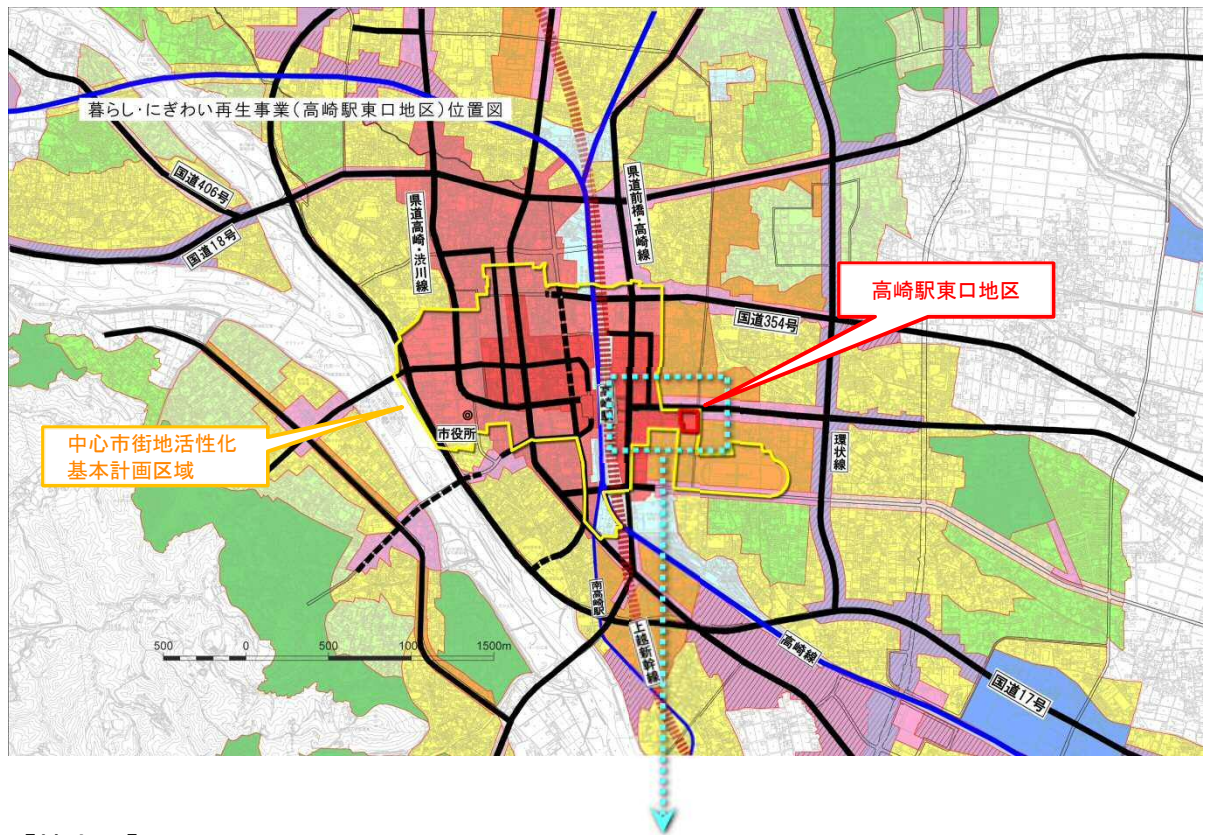
高崎市は古くから交通の要衝として栄え、新幹線・高速自動車道等の広域ネットワークの結節点として発展してきたが、さらに平成23年の北関東自動車道の全線開通を皮切りに、関越自動車道スマートインターチェンジの開設、今後の北陸新幹線の金沢延伸により、本市の拠点性は飛躍的に向上する可能性を秘めている。また、それら高速交通網の十字軸上にある高崎市は、その広域交通ネットワークの拠点性により物流機能を高め、特に東口エリアは業務機能の集積とともに発展を続けている。

本市においては、まちづくりの基本戦略として「高崎駅を中心としたまちづくり」を掲げ、商業施設・文化・情報の集積により本市の発展を牽引し、多くの人々が集まり新しい都市文化や経済活動を生み出すような賑わいと躍動感あふれるまちづくりを目指しているが、都市基盤整備を推し進めてきた近年に至っても中心市街地の歩行者通行量は減少の一途で、商店街の空洞化は深刻となり、まちなかの回遊性の向上が大きな課題となっている。

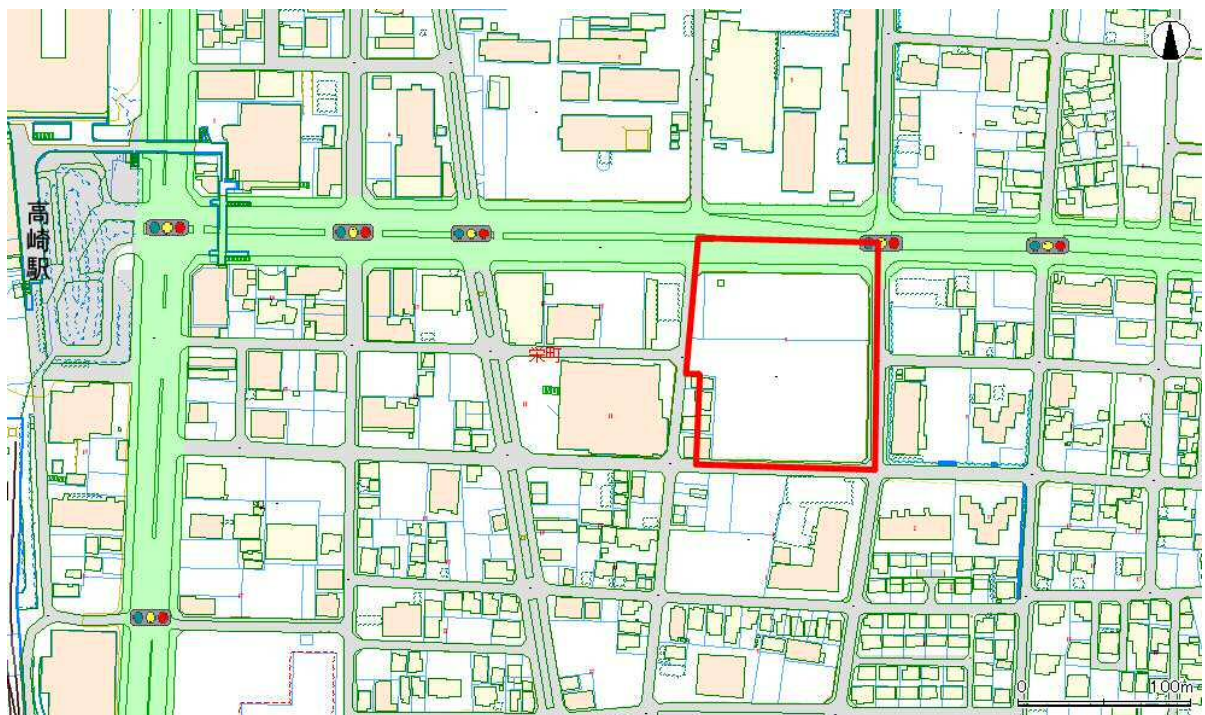
そこで、平成25年度に完成予定のスマートインターチェンジと高崎駅を結ぶ新たな都市軸の中心的役割を担う場所となる本地区において、暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援により多目的ホールを中心とした複合施設を整備することで、「人・もの・情報」を中心市街地に誘導する交流と創造の拠点として、集客力のあるシンボリックな施設を整備することにより、来街者の増大や定住人口の増加、さらには業務機能の集積による雇用拡大や民間投資を誘発することで、中心市街地の賑わいの創出と駅を中心とした回遊性の向上を図ることを目的とし、計画区域を設定した。

2 位置図

【広域図】



【拡大図】



3 総事業費

約290.7億

4 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

1) 再生事業計画区域が抱える課題	<p>再生事業計画区域を含む高崎市中心市街地は、古くから交通の要衝として発展した歴史を有しており、今日でも高崎駅は、上越・北陸新幹線をはじめ多数の鉄道やバス路線が乗り入れる県内随一の広域交通ターミナル機能を有している。北関東自動車道の全線開通や、今後控えるスマートインターチェンジの整備、北陸新幹線の金沢延伸などは本市の交流拠点機能をさらに向上させる機会でもあるが、同時に本市に魅力が無ければ、単なる通過都市となってしまう脅威ともなり得る。</p> <p>また、1961年の群馬音楽センター建設以降、高崎に本拠地を置く群馬交響楽団は、日本の音楽界を古くから牽引し、「音楽のある街・たかさき」というスローガンとともに本市の文化芸術の象徴とされてきたが、それを戦略的に活かす政策は脆弱であり、その創造の場でもあるべきホールは、施設の著しい老朽化や音響等の問題で「選ばれないホール」となっている。主体的に文化芸術の創造・参加をするという活力も乏しく、特に音楽の持つエネルギーを活用し、「音楽のある街」としての地域の連帯感や活性化と文化芸術の創造拠点が必要となっている。</p>
2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設	教育文化施設（多目的ホール、活動スペース等）
3) 都市機能導入施設の整備効果	<p>「人・もの・情報」を中心市街地に誘導する交流と創造の拠点として、集客力のある都市機能導入施設を整備することにより、来街者の増大、業務機能の集積による雇用拡大や民間投資の誘発が期待される。中心市街地の賑わいの創出と駅を中心とした回遊性の向上を図るとともに、プロオーケストラの本拠地として、時代をリードする新しい音楽を生み出すアーティストを輩出してきた街として、高崎の文化芸術の拠点となり、高崎ブランドの「創造・交流・発信」の拠点施設とする。</p>

5 都市機能導入施設及び公開空地等の整備計画の概要（全体概要）

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公益施設の種別	事業期間
①	高崎文化芸術センター	コア事業	都市機能まちなか立地支援	教育文化施設	H26～H31

【事業スケジュール】

番号	H26	H27	H28	H29	H30	H31
①	 実施設設計		 建設工事			

6 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	高崎文化芸術センター (仮称)	事業期間	H26～H31
補助種別		コア事業		補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数		地上8階 地下1階		構造	耐火構造
敷地面積 (㎡)		10,983.22 ㎡		延床面積 (㎡)	27,355.15 ㎡
施設用途（都市機能導入施設の概要）					
教育文化施設					
構 成		機 能 等			
大ホール		固定席2,000席程度。プロセニウム舞台。音楽（クラシック・ポピュラー等）、舞台芸術（ミュージカル・演劇・オペラ等）、式典、講演会、各種市民発表会等が可能。			
小ホール		固定席400席程度。室内楽やピアノ等のコンサート、発表会、講演会開催等が可能。			
イベントスペース		可動客席＋椅子席500席程度。平土間でも利用し、ライブコンサートや演劇、和楽、能、講演会、展示会等が可能。			
スタジオ		音楽家の育成、活動をサポートする練習やリハーサル、舞台芸術家の創造活動のための映像編集、スチール撮影が可能なスタジオ。			
その他		練習室、楽屋、管理諸室、備品庫、機械室、電気室等。			
駐車場		運営スタッフ、出演者、主催者用及び車椅子利用者用として整備。			

7 提出参考資料

- ・ 中心市街地活性化基本計画の認定書の写し